



ようやく積雪期の山頂が踏めた！上越のmatterホルン

## 谷川連峰 大源太山ブドー尾根～ ヤスケ尾根下降

棚橋

【日時】 2010年2月13日(土)～14日(日)

【メンバー】L棚橋、佐貫、MY(会員外)

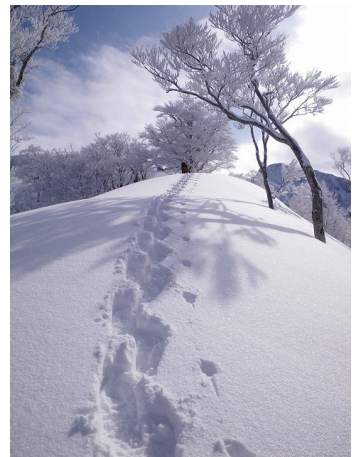
大源太山の山頂には入会した年の盛夏に、L藤本さん、高橋さん、植島さんと共に大源太川の北沢本谷よりピークを踏んだ。山頂においてミニ集中の予定であったが、もう一つの鷲ノ首沢パーティがルートミスか何かで中々到着せず山頂で1時間以上待ったことが、つい昨日のここのようだ。しかし積雪期となると幾つものルートを暖めているものの、最初に訪れたブドー尾根で躓いてしまい(過去2回中退)、遠い頂となっていた。

2月13日 晴れのち曇り

旭原の除雪終了地点より、スノーシューを装着して歩き出す。20分で毎度お馴染みの、ゴルフ場のクラブハウス前を通過する。最初に訪れた時はワカン、次がフリートレック、そして今回はスノーシューだが、雪が締まっていたこともあったためか最短記録を更新した。ここよりブドー尾根に取付くが、今回は積雪量が十分なので迷わず末端から行くことを確認する。これが私の拘りでもある(ルートの読める人は、もっと先から取付くだろう)。

藪もそれほど煩くなく、快調に高度を稼ぐ。出発時は曇り模様だった空も、次第に晴れ上がってきた。振り返ると、気持ちの良い雪尾根に刻むトレースが美しい。この美しさの追求も、私の拘りの一つである。

Co1300m付近にて20分もの大休止。ここでスノーシューからアイゼンへと履き替え、ヨセ沢ノ頭の登りに備える。ここから1時間弱でヨセ沢ノ頭を通過し、更に南下する。そして一旦コルまで下るが、あまりの好天のために雪が腐り、一步毎にアイゼンダンゴを落としながら進まなければならない。しかも傾斜が少しでも強くなろうものならバックステップが強られる、嫌らしい状態が続く。コルまで降り立つと、ようやくその緊張状態から開放される。まだ13時を過ぎたところであるが、先に見える大源太山が何だかおどろおどろしい雰囲気醸しだしており、山頂まで2時間+幕営適地まで1時間という予定通



気持ちの良い雪尾根

りに収まるかどうか、どうにも自信が持てない。そこで、やや時間が早い今日はここまでとする。

この辺りでは最も安全そうな場所を求めたつもりだが、一度天候悪化と来た日には風に対して無防備なロケーションなので、ブロックも積んでおくことにする。そうこうしている間に、間近に見えていた大源太山はガスに包まれ、結局暗くなるまでその雄姿を見せることはなかった。

2月14日 晴れ

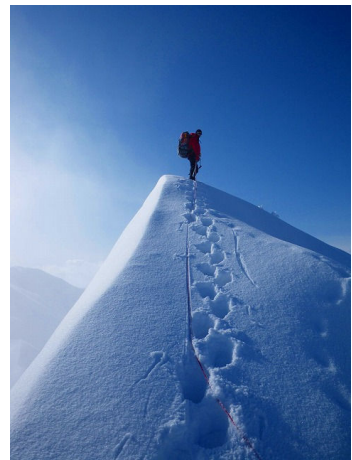
明るくなってから出発。斜面は急だが、雪が締まっていて有り難い。山頂手前の露岩が顔を出す辺りよりロープを結ぶ。そしてスタカットからランニングコンテを交えて、ひたすら山頂を目指す。「山頂の標柱は出ているだろう」とMさんは言っておられたが、最高地点に達してもそれらしきものは見当たらない。しかしよく見ると、足元にかろうじて頭だけその姿を見せており、ここが山頂であることが確認できた。幕場よりここまで3時間弱も要しており、昨日無理をしないで良かった。

ヤスケ尾根の上部はやや急であるのと、まだロープを結んでいることから、下降もスタカットからランニングコンテを交えて標高を下げる。そしてCo1500m付近でロープを解き、1本取る。ここからは、またしてもアイゼンダンゴに注意しての下降が始まる。それでも快調に進みヒロクボ沢出合まで一気に目指すが、尾根の最後がズブズブで、スパッツを忘れたためにガムテープ+ビニール袋の「特製スパッツ」使用の佐貫は大変な様子だ。林道まで下り切ったところで小休止を取り、アイゼンからスノーシューへと履き替える。

あとは林道を辿るだけだが、なんとワカントレースが現れる。よく見ると登ってきたもののようだ。そのトレースに導かれて進むが、その「ワカンワーク」はエキスパートの域だと感じられた。そして林道の登り返し部でも効率良いルート取りがなされていたので、大いに助けられた。おかげさまで、予定より短い時間で大源太キャニオンまで行き着くことができた。



おどろおどろしい雰囲気



大源太山頂にて



ヤスケ尾根の下降

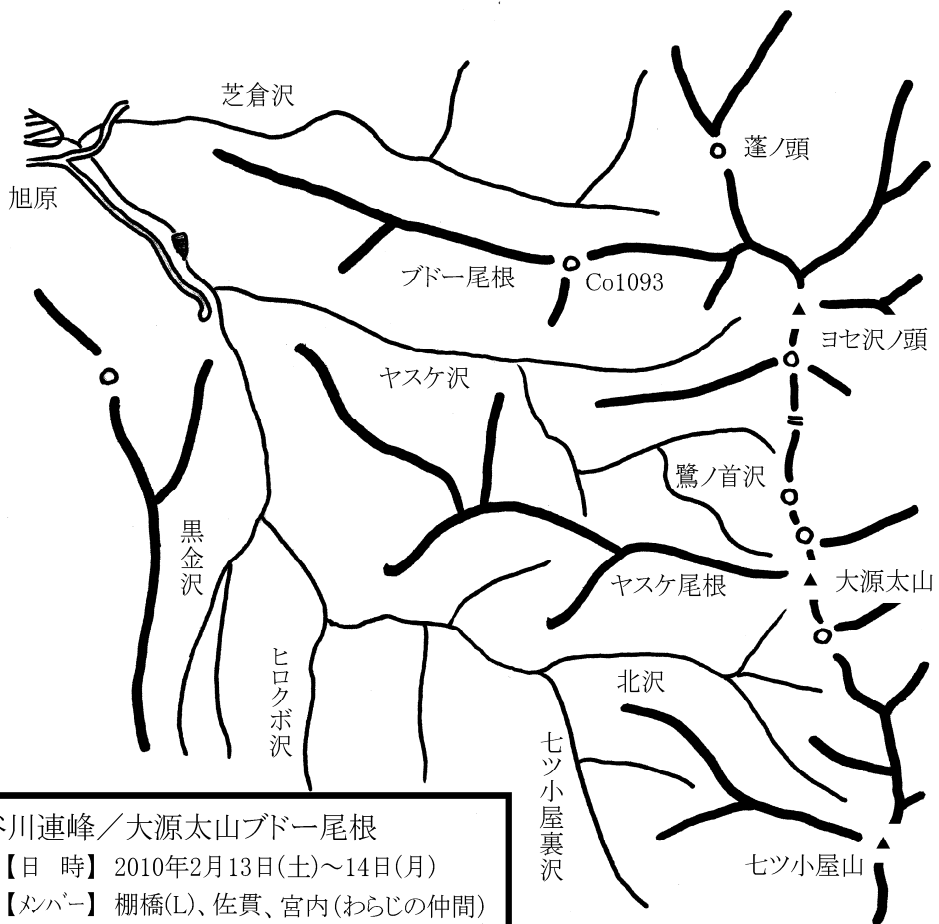


「3度目の正直」で、ようやく積雪期の大源太山頂を踏むことが叶った。またMさんには、未熟な我々にお付き合い頂いたばかりか、またしても色々御教授頂き、感謝の気持ちに堪えない。ランニングコンテは積極的に使っていきたい。山頂での、Mさんの笑顔も脳裏に焼きついている。天候その他諸条件に恵まれ、とても充実した山行が行えた。Mさんには、是非またお付き合い頂きたいと思う。

### 【行程】

- 2/13 旭原(7:41)～ブドー尾根取付(8:06)～Co931m(9:31)～Co1093m(10:30)～ヨセ沢ノ頭(12:20)～Co1315m付近 C1(13:25)
- 2/14 C1(6:43)～大源太山(9:30/55)～Co1500m(10:30/54)～Co1280登山道分岐地点(11:32/40)～Co1120尾根分岐地点(11:15/35)～ヒロクボ沢出合上部(13:00/14)～林道終点(13:28)～旭原(14:19)

### 【地図】 茂倉岳



谷川連峰／大源太山ブドー尾根

【日時】 2010年2月13日(土)～14日(月)

【メンバー】 棚橋(L)、佐貫、宮内(わらじの仲間)

【作図】 棚橋